



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場会社名 積水化成工業株式会社
 コード番号 4228 URL <http://www.sekisuiplastics.co.jp/>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 恵造
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 藤原 敬彦

TEL 06-6365-3022

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	75,765	△1.5	947	△51.2	855	△52.6	392	△41.1
24年3月期第3四半期	76,902	△0.0	1,940	△52.0	1,802	△50.9	666	△66.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 653百万円 (△21.4%) 24年3月期第3四半期 831百万円 (△61.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	4.17	—
24年3月期第3四半期	7.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	103,805	49,274	46.6
24年3月期	101,889	48,911	47.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 48,358百万円 24年3月期 47,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,600	0.2	1,600	△29.6	1,200	△43.1	600	△19.4	6.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	95,976,218 株	24年3月期	95,976,218 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,982,276 株	24年3月期	1,980,069 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	93,995,325 株	24年3月期3Q	93,998,001 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては発表時現在のデータにより、経営者が現状で判断する一定の前提及び仮定に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。上記の予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日）の日本経済は、欧州債務不安に端を発する世界経済の減速や円高の長期化で生産・輸出が鈍化し、個人消費も弱含むなど厳しい状況が続きました。日本の発泡プラスチック業界におきましては、顧客の生産減少や全般的な消費意欲の減退に加え、原材料価格の上昇もあり、厳しい収益環境となりました。

このような経営環境のなか、当社グループは3か年中期経営計画「ENS2000（Evolution for the Next Stage 2000）」（平成22年度～平成24年度）の最終年度を迎えました。当第3四半期連結累計期間は、生活分野、工業分野ともに主力製品の需要が低調であったことに加え、原材料価格上昇に対して末端製品価格への転嫁が遅れた影響を受けました。特に第3四半期以降は、従来の組織や地域の枠を超えたチーム編成によるソリューション営業での売上拡大を、生産・開発・管理部門も一体となってスピードアップして進めた結果、売上高は757億6千5百万円（前年同期比1.5%減）となりました。また、利益面では、全グループあがりの徹底したコスト削減に取り組み、営業利益は9億4千7百万円（前年同期比51.2%減）、経常利益は8億5千5百万円（前年同期比52.6%減）、四半期純利益は3億9千2百万円（前年同期比41.1%減）となりました。

以下、各セグメントの業績は次のとおりであります。

<生活分野>

生活分野の売上高は520億4千8百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益は10億4千2百万円（前年同期比43.7%減）となりました。

「エスレンビーズ」（発泡性ポリスチレンビーズ）は、農水産資材関連での需要低調や円高による輸入品の増加などにより売上高は前年同期を下回りました。「エスレンシート」（発泡ポリスチレンシート）は、食品トレー向けは堅調に推移したものの、カップめん容器向けの前年同期における震災関連需要の反動減などから、売上高は前年同期並みとなりました。土木資材関連では、「アクアロード」（雨水貯留浸透槽）などで震災復興需要が寄与しましたが、売上高は前年同期並みとなりました。

<工業分野>

工業分野の売上高は237億1千7百万円（前年同期比3.3%減）、セグメント利益は7億6千1百万円（前年同期比40.9%減）となりました。

「ピオセラン」（ポリスチレン・ポリオレフィン複合樹脂発泡体）は、自動車関連での需要回復や、国外での需要拡大があったものの、日本の薄型テレビ関連における需要減退、生産国外移転の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。「テクポリマー」（有機微粒子ポリマー）は、液晶テレビパネルなど光拡散用途での需要がやや回復してきたことに加え、塗料用途などの受注が堅調であったことから売上高は前年同期を上回りました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,038億5百万円（前連結会計年度末比19億1千6百万円増）となりました。資産の部では、現金及び預金の減少などにより流動資産が5億2千4百万円減少し、有形固定資産の増加などにより固定資産が24億4千万円増加しました。一方、負債の部では、支払手形及び買掛金、電子記録債務の増加などにより流動負債が5億1千4百万円増加し、長期借入金の増加などにより固定負債が10億3千9百万円増加しました。純資産は、492億7千4百万円となり、3億6千3百万円増加しました。自己資本比率は46.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月31日に公表した平成25年3月期通期連結業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,777	5,561
受取手形及び売掛金	29,890	30,746
商品及び製品	6,242	6,338
仕掛品	126	118
原材料及び貯蔵品	2,210	2,236
その他	2,013	1,717
貸倒引当金	△63	△46
流動資産合計	47,197	46,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,669	14,383
機械装置及び運搬具（純額）	8,325	8,478
土地	18,479	19,179
その他（純額）	2,634	2,837
有形固定資産合計	43,109	44,879
無形固定資産		
のれん	12	1
その他	489	478
無形固定資産合計	501	479
投資その他の資産		
その他	11,299	11,906
貸倒引当金	△219	△132
投資その他の資産合計	11,080	11,774
固定資産合計	54,692	57,132
資産合計	101,889	103,805

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,493	18,953
電子記録債務	—	2,239
短期借入金	8,568	8,829
未払法人税等	163	184
賞与引当金	910	394
役員賞与引当金	28	21
製品補償引当金	99	87
その他	9,631	7,699
流動負債合計	37,896	38,410
固定負債		
長期借入金	8,500	9,040
退職給付引当金	1,981	2,150
その他	4,599	4,929
固定負債合計	15,080	16,120
負債合計	52,977	54,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,533	16,533
資本剰余金	17,261	17,261
利益剰余金	11,893	12,003
自己株式	△654	△654
株主資本合計	45,034	45,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,484	2,806
土地再評価差額金	1,204	1,204
為替換算調整勘定	△726	△797
その他の包括利益累計額合計	2,962	3,213
少数株主持分	914	916
純資産合計	48,911	49,274
負債純資産合計	101,889	103,805

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	76,902	75,765
売上原価	60,240	60,485
売上総利益	16,661	15,279
販売費及び一般管理費	14,720	14,332
営業利益	1,940	947
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	172	176
為替差益	—	83
その他	99	105
営業外収益合計	277	371
営業外費用		
支払利息	122	124
持分法による投資損失	6	21
為替差損	93	—
その他	194	317
営業外費用合計	416	463
経常利益	1,802	855
特別利益		
投資有価証券売却益	—	31
退職給付引当金戻入額	25	—
災害損失引当金戻入額	22	—
貸倒引当金戻入額	14	—
特別利益合計	62	31
特別損失		
課徴金	—	82
投資有価証券評価損	96	5
支払補償費	295	—
事業整理損	69	—
その他	25	14
特別損失合計	487	102
税金等調整前四半期純利益	1,376	783
法人税等	655	387
少数株主損益調整前四半期純利益	721	396
少数株主利益	55	4
四半期純利益	666	392

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	721	396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	322
土地再評価差額金	262	—
為替換算調整勘定	△197	△64
その他の包括利益合計	110	257
四半期包括利益	831	653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	779	643
少数株主に係る四半期包括利益	52	10

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	生活分野	工業分野	計		
売上高					
外部顧客への売上高	52,370	24,531	76,902	—	76,902
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,122	1,669	4,792	△4,792	—
計	55,493	26,200	81,694	△4,792	76,902
セグメント利益	1,852	1,288	3,141	△1,338	1,802

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△1,338百万円には、セグメント間取引消去△9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,331百万円、固定資産未実現利益2百万円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 各セグメントに属する主要な製品の名称

- ・生活分野—— エスレンビーズ、エスレンシート、エスレンウッド、ESダンマット、EPS土木工法
- ・工業分野—— ピオセララン、ライトロン、ネオマイクロレン、セルペット、テクポリマー、テクノゲル

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	生活分野	工業分野	計		
売上高					
外部顧客への売上高	52,048	23,717	75,765	—	75,765
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,083	1,892	3,976	△3,976	—
計	54,131	25,609	79,741	△3,976	75,765
セグメント利益	1,042	761	1,803	△948	855

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△948百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△949百万円、固定資産未実現利益1百万円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。
これによるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

4. 各セグメントに属する主要な製品の名称

- ・生活分野—— エスレンビーズ、エスレンシート、エスレンウッド、ESダンマット、EPS土木工法
- ・工業分野—— ピオセララン、ライトロン、ネオマイクロレン、セルペット、テクポリマー、テクノゲル

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。